

双葉西小だより

令和3年 3月15日 文責 学校長 平塚 克人



令和2年度を終えるにあたって

令和2年度も19日（金）卒業式、25日（木）修了式、そして26日（金）離任式の3つの儀式的行事で幕を閉じます。保護者の皆様には、感染症対策のために健康チェックカードの記入をはじめとしまして行事の中止や変更等、例年とは違うことが多々ありましたが、学校へのご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。特にPTA本会及び常任委員の皆様には、会議のたびに学校側の原案に対しまして、その時の状況を踏まえながらの広い視野からの建設的なご意見をいただきました。おかげさまで、無事に年度末を迎えることができました。ありがとうございました。

地域の皆様も日々、新型コロナウイルス感染症防止のために、様々な面で注意しながらの生活が続いていると思います。そのような状況下ではありましたが、公私ご多忙の中、ご来校いただきまして子供たちへの積極的な関わりに心より感謝申し上げます。担任1人では、なかなか指導が行き届かないところを複数の皆様からご支援をいただきましたことや、より専門的な立場からのご指導であったり、新たな気づき子供たちに提供してくださったりと、子供たちが達成感や満足感を味わいながら学校生活を送ることができました。ぜひ、来年度も継続してのご協力をお願いいたします。

子供たちも新しい生活様式への対応で、感染症防止のことを常に気にしながらの学校生活を送ってきました。真夏のマスク着用は、暑さでマスクを外したくて外したくてたまらなかったことでしょう。夏の日差しを浴びながら、水しぶきを上げて友達とプールを楽しみたかったことでしょう。授業参観で、いつものがんばりを教室でお家の方に見てもらいたかったことでしょう。給食も仲間とワイワイ楽しい話をしながら顔を見合わせて食べたかったことでしょう。西小まつりで多くの人達に自分たちの発表を生で見てもらい、喜んでもらって大きな拍手をもらいたかったことでしょう。運動会で、校庭にレジャーシートを敷いて、外の空気を吸いながらおいしいお昼ご飯を家族で食べたかったことでしょう。

そのような中でしたが、子供たちは今の学年での学校生活を無事に終えようとしています。何年後か、いえ何十年後かになるかもしれませんが、子供たちが大人になったときに、自分の子供や孫にこの時代の話をもどのようにするのか聞いてみたい気持ちになります。今年度まだ半月ありますので、3月後半をこれまでの取組を子供たちと共に振り返り、進学や進級に向けて目標を持たせる節目にしたいと思います。1年間ありがとうございました。



今年度最後の学校運営協議会を終えて

2月26日（金）に今年度最後の「学校運営協議会」が開催されました。会に先立ちまして、6年生代表児童3名が1年間お世話になりました学運協の皆様へ授業支援や環境整備についてのお礼の言葉を述べました。会が終わった後、ある会員の方から、「はっきりとした口調で心温まる言葉に感激した。」とのお話をいただきました。

最初に1年間の活動の振り返り、いじめ・不登校等の調査結果の報告がありました。学校関係者評価では、読書離れ、それに伴うスマホや携帯、ゲーム時間の長時間化についても議論が交わされました。その中で特に家庭でのルールや保護者の監督も必要になってくるという意見も出されました。創立150周年記念に向けては、「実行委員会を作った方がよい。」等の意見が出されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、積み上げてきた成果を十分に継承できるか心配でしたが、委員・学校応援団・PTAの皆様のご協力により、これまで同様に学校運営を行うことができました。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。





心のこもった6年生を送る会



先月24日(水)に体育館で行いました。1部では縦割り班ごとに思い出やお礼の気持ち等の言葉を交わしたり、在校生から6年生にプレゼントが渡されたりしました。2部では6年生個々の紹介の後、在校学年の発表や合唱を映像で楽しみました。最後に、6年生の息の合ったダンス発表を在校生が尊敬の眼差しで見っていました。〈詳細は本校HP:2/24,25のブログをご覧ください。〉

来年度の学級編成(3.15 現在での予定)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
児童数	43	45	42	40	42	45	12	269
学級数	2	2	2	2※	2	2	3	15

学級数は、その学校の規模や教職員数等の基になる、とても重要な数です。これは、学年別の総児童数と1学級児童数上限の基準によって決まります。本県では、本県独自施策「はぐくみプラン」の基準により、法律による国の基準よりも少ない基準で学級編成できる仕組み(少人数学級)が実現しています。その規定にもかかわらず、新4年生は40人(今年度より1人減)ですので、本来ですと1学級になります。しかし、市教委との協議により、教職員定数(本校の場合は14学級の担任14名+2名=16名)の中の1名を学担任にして4年生を2学級(※)にすることの許可をいただきました。そのため、学担任ではない教職員が1名(教務主任)だけになります。ご了承ください。

卒業式予行で卒業生に贈った言葉 ~ 本番に向けて ~

卒業生の皆さん、小学校卒業までいよいよ1週間になりました。6年間に渡る小学校生活を終えようとしている今、皆さんはどのような気持ちで、この予行に臨んでいるのでしょうか。ポジティブに、小学校最後の1週間をより充実させたいと思っている人もいるでしょう。晴れの門出を心待ちにしている人もいることでしょう。また、卒業式を成功させるために残された練習に全力を尽くそうと思っている人もいるでしょう。しかし逆に、もう少し小学校生活を楽しみたいとか、中学校という新たな環境に不安を抱いている人もいるでしょう。違う中学校へ行く人や由香先生や修男先生との別れを惜しんでいる人もたくさんいるのではないのでしょうか。

卒業生53名の皆さんが、それぞれの思いを携えながら小学校生活での最後の授業となるのが、来週3月19日の卒業式です。新型コロナウイルス感染症防止のために、残念ながら地域の来賓の皆様は卒業式に参加できません。しかし、在校生代表で参加する5年生44名が、きっとこれまで活躍してきた先輩を憧れの眼差しで見守ってくれるでしょう。先生たちも、学校のため、下級生のために尽くしてきた卒業生の皆さんに感謝の気持ちいっぱい、そして全力で心の中で応援したいと思っています。そして何よりも、お家の方々が皆さんの小学校卒業を一番喜んでいることは間違いありません。皆さんが小学校生活6年間を無事に終えることができるのも、お家の方々の努力や助けがあったからこそです。きっと卒業式当日、普段は忙しいお家の方々も、仕事や家のことは忘れて、小学校を卒業する我が子のことだけを考えて見守ってくれます。

主役の卒業生が、本番で光り輝くために、今日の予行では卒業生も在校生も、全身全霊を込めてお互いに練習してきた成果を贈り合いましょう！

